

2 福イ 3 5 9 0 号
令和 3 年 2 月 1 0 日

耐風試験装置
使用者手引き
(第 1 版)

福島ロボットテストフィールド
令和 3 年 3 月 1 日

改訂履歴

版	施行日	内容	作成
1	令和 3年 3月 1日	新規作成	技術課 課長代理 濱 野 漂太郎

目 次

1	設備構成	1
	(1) 送風機 (ジェット GYM、GRL-8041)	1
	(2) 制御装置 (3BS100)	1
2	注意事項	2
3	使用方法	2

1 設備構成

(1) 送風機 (ジェット GYM、GRL-8041)



(2) 制御装置 (3BS100)



2 注意事項

耐風試験装置の使用にあたっては、以下の項目を守ってください。

- (1) 耐風試験装置の動作中、そばを離れない。
- (2) 送風機の空気吸込み口に、手や物を入れない。
- (3) 装置を分解しない。
- (4) 雨、水しぶき、土埃、砂埃の中で使用しない。
- (5) 平らでない場所、不安定な場所、勾配のある場所で使用しない。
- (6) 使用前に制御装置のタイヤの空気圧が十分であることを確認する。
- (7) 制御装置の左右のアウトリガー（補助脚）を2本共、開脚する。
- (8) 送風機の羽根に埃・水気等が付着している場合、管理者に連絡する。
- (9) 使用中、異常を感じたら、使用中止して管理者に連絡する。

3 使用方法

(1) 始 動

- ア 制御装置の前面扉を開け、メインブレーカがOFFであることを確認する。
- イ 制御装置の電源プラグを電源（アース付き3相200V）に接続する。
- ウ 制御装置の出力コネクタ（メス）に送風機の電源プラグを接続する。
- エ 送風機の電源スイッチをONにする。
- オ 制御装置の操作スイッチをSTOPにする。
- カ 制御装置の周波数調整つまみを初期位置（目盛0）に合わせる。
- キ 制御装置のメインブレーカをONにする。
- ク 制御装置の操作選択スイッチをRUNにする。
- ケ 「周波数調整」つまみを初期位置（目盛0）から時計方向に回すと、送風機が動作する。目盛0（風量最小）～50（風量最大）の範囲で風量を可変できます。
- コ 周波数調整つまみを反時計方向へ回すときは、1目盛1秒程度の速度でゆっくり回して下さい。つまみを回す速度が速すぎると、送風動作が止まってしまいます。

(2) 停 止

- ア 周波数調整つまみを反時計方向へゆっくりと回し、目盛0に合わせる。
- イ 制御装置の操作選択スイッチをSTOPにする。
- ウ 制御装置のメインブレーカをOFFにする。
- エ 送風機の電源スイッチをOFFにする。
- オ 制御装置の出力コネクタ（メス）から送風機の電源プラグを外す。
- カ 制御装置の電源プラグを電源（アース付き3相200V）から外す。